

ま ちなみバスがギャラリーに 子どもたちの絵を車内に展示



市街地周遊バスの「まちなみバス」と「のらマイカー」車内で、子どもたちが描いたバスの絵58点が9月15日から1カ月間展示されました。

子どもの絵を一目見ようと親子連れの姿も見られ、色彩豊かな絵が乗客の目を楽しませていました。なお好評につき期間を延長して10月31日まで高山濃飛バスセンター内に絵を展示します。

健 やかであり続けるために 市民健康まつりで健康を楽しく学ぶ



市民に健康づくりの意識を高めてもらおうと市役所や保健センターで9月25日に開催されました。

歯のフッ化物塗布、健康相談、肺や血管の年齢測定など「健康」をテーマにした32団体のコーナーには、のべ約2,200人の家族連れなどが訪れました。また商店街を歩く市民ウォーキングでも約100人がショーウィンドーを眺めながら楽しんでいました。

乗 鞍の未来を考える 乗鞍のあり方を議論



乗鞍を活用した地域振興と自然保護をいかに両立していくかをテーマにしたフォーラムが、9月17日に丹生川文化ホールで初めて開催され、約300人の市民などが参加しました。

乗鞍では平成15年からマイカー規制が導入されており、そのあり方について高山西高校の生徒によるディベートや、地元関係者などのパネルディスカッションが行われ、熱心な議論が展開されました。

野 麦峠を力走 野麦峠トレイルラン初開催



未舗装の厳しい山道を走るトレイルランが、松本市との姉妹都市提携40周年記念として10月2日に行われました。野麦峠周辺では初開催で、全国各地から129人による熱戦が繰り広げられました。

松本市奈川を出発して野麦峠を目指す高低差450mの35kmコースは、旧街道や林道など未舗装割合が80%ですが、参加者は約3～6時間かけ、大自然のランを思い思いに楽しんでいました。

未来の高山市のために私たちができること 高山市経済活性化フォーラム

ゲストパネリスト



評論家
金 美齢(きん みねい)



まちづくり研究家
紅谷 正勝(べにやまさかつ)



高山市長
國島 芳明(くにしまよしひろ)

観光、福祉、企業、まちづくりについて、高山市全域から意見を集約し、地域経済の現状をふまえて高山市にとって理想的なモデルを見出すパネルディスカッションを行います。みなさんのご参加をお待ちしております。

日時 11月1日(火) 午後6時30分～9時(開場午後6時)

場所 市民文化会館小ホール(昭和町1)

定員 350人(申込不要)

問合せ先 **高山青年会議所**
☎32-0380